

(日本史 A プリント(25))

II 近代日本とアジア 5.第二次世界大戦

e、戦時下の国民生活

①日中戦争開戦→[1 国民精神総動員]運動を展開

= 出征兵士の歓送・慰霊祭・神社崇拝・家ごとの国旗掲揚を要求→しないものは「2 非国民」

②1938/4 [3 国家総動員]法

→政府が議会の承認なしに[4 物資]や[5 労働力]を動員、国民生活を統制しうる権限を与える

軍事費の拡大→費用をまかなうために国民に[6 愛国公債]を発行し割り当てる。日銀券の増発

太平洋戦争の開戦後、政府は、多くの工場を[7 軍需]工場へ転用する一方、国民に対しては生活を極度に切り詰めさせて兵力・労働力として根こそぎ動員した。1943年には[8 学徒出陣]として、大学などに在学中の多くの学生を軍に徴集する一方、[9 勤労働員]として学生・生徒や[10 女子挺身隊]に編成した女性を軍需工場などで働かせた。

軍隊に動員された男子は[11 400~500万]人に達し、労働力が絶対的に不足した。さらに制海・制空権の喪失によって南方からの[12 海上輸送]が困難となったため、軍需生産に不可欠の物資も欠乏した。

③太平洋戦争の開始→軍需優先に=輸出向け中小企業の廃業や[13 民需]産業の軍需への転業

[14 労働力]不足、海上権の喪失→国外から物資の輸・移入の困難、軍需産業生産の減少
空襲の激化→軍需工場の破壊

④兵力の増強=[15 学徒出陣](文系学生に対する徴兵猶予の停止 43/10)

⑤労働力の徴用

ア) 1939/7 [16 国民徴用令]により女性や技術者の徴用可能に

→女子勤労報国隊(のち女子挺身隊)

イ) 労働組合の解散→[17 産業報国会]の結成=労使一体で生産に従事

ウ) 中等学校以上の生徒を軍需工業などに動員([18 勤労働員])

エ) 朝鮮半島や中国占領地からの労働力の[19 強制連行]

→[20 鉱山]や土木工事などに従事、過酷な労働により多数の犠牲者を出す

→[21 花岡]事件なども発生

オ) 満州国への入植を進める→[22 満蒙開拓義勇団]を植民させる(27万人)

→戦後の混乱の中で集団自決発生、中国残留孤児・婦人の発生へ

⑥食糧不足の深刻化

農家への米の[23 供出]を強制→労働力不足などから農業生産の低下(1945は大凶作に)

不足分を朝鮮・満州・[24 ヴェトナム]などから強制的に調達→反日感情を強める

→大飢饉の発生(餓死者200万人以上に)

生活必需品の不足→[25 価格等統制令]により公定価格制と物資の[26 配給]制実施



配給内容の遅配・劣悪化(米→麦・大豆・ジャガイモなどに)=国民は飢餓状態に、結核の死者増大

[28 国民]服の着用の強制

1944 年後半以降, [29 サイパン]島が陥落すると、米軍機による[30 本土空襲]が激化した。空襲は、軍需目標から国民の戦意喪失をねらう都市への[31 無差別爆撃]へとなり、多くの一般市民の命と財産が奪われた。とくに 1945 年 3 月 10 日の[32 東京大空襲]では一夜にして約[33 10 万]人が焼死した。

こうしたなか。都市では建築物の[34 強制疎開](強制疎開)や[35 防空壕]の掘削がおこなわれ、軍需工場の地方移転、住民の縁故疎開や国民学校生の[36 学童疎開]もはじまった。

⑦ 1944 年秋以降、空襲激化…[37 軍需]目標から、都市を狙った[38 焼夷弾]を用いた無差別爆撃に



延焼を避けるため家屋の[39 強制疎開]を実施、防空壕をつくる

国民学校生 (= [40 小学生])→空襲を逃れ、地方へうつす([41 学童疎開])

⑧文化・思想統制の強化

ア) [42 治安維持法]法(1925 制定)など 共産主義や「国体」(天皇制)への批判を禁止

→次第に適用範囲・罰則規定など強化 = [43 自由]主義的な学説なども禁止

→ 1941/3 治安維持法の改正 思想犯に対する[44 予防拘束]追加

イ)教育での国家主義・忠君愛国主義を徹底化 = 小学校を[45 国民学校]と改称

ウ)マスコミ・文化人を戦争目的に利用→作家や画家などを戦地に送り戦意高揚に利用

→[46 検閲]を実施し、日本に不利な報道は厳しく禁止

エ)敵性文化の禁止など

[47 外国語]の使用禁止、パーマネント、ジャズ・クラシック禁止、キリスト教への弾圧

⑨国民の様々な抵抗

・[48 沈黙]をまもる、「49 奴隸 の言葉」を用いる、自らの研究に没頭、日記

・合法的抵抗…個人雑誌、争議

・徴兵拒否…指を傷付ける、

・投書、落書き、私語、替え歌、軍人を面罵、反戦ビラ

「ぜいたくは 50 素 敵だ！」

・国外での活動…野坂参三・鹿地亘ら[51 中国など]での反戦活動

石垣綾子、アメリカにおいて反戦活動をすすめる